

**クラウド型マルチ決済システム「J-Mups(ジェイマップス)」で
共通ポイントサービス「Ponta」が利用可能に！**

～導入第一弾は「カラオケ本舗まねきねこ」の369店舗、2月23日順次取り扱い開始～

三菱UFJニコスはこの度、当社運営のクラウド型マルチ決済システム「J-Mups(ジェイマップス)」で共通ポイントサービス「Ponta(ポンタ)」の取り扱いを決め、導入第一弾として、株式会社コシダカ(本社:群馬県前橋市、代表取締役社長:腰高博、以下コシダカ)運営の「カラオケ本舗まねきねこ」の369店舗で2月23日に順次その取り扱いを開始します。

「Ponta」は、株式会社ロイヤリティ マーケティング運営の共通ポイントサービスで、1枚のポイントカードで様々な提携店舗(80社、全国約23,400店)の「共通ポイント」として利用でき、会員数は約6,786万人に至ります(平成27年1月末日現在)。当社は今般、多様化する加盟店の決済・販売促進ニーズに対応するため、「J-Mups」への同サービス追加を決めたものです。

コシダカ社は平成2年のカラオケ1号店オープン以来、今や業界最大級の店舗網を有する「カラオケ本舗まねきねこ」を運営、その他の店舗を含めた独自の出店戦略で、多くの顧客から支持を得ています。今回の「Ponta」取り扱い対象は、既に「J-Mups」を導入している「カラオケ本舗まねきねこ」の全369店舗(平成27年2月18日現在)。これにより、各店舗はクレジットカードや交通系電子マネー、銀聯カードの決済と「Ponta」を同一の端末で簡便に処理できるようになるものです。

なお、「J-Mups」は専用のコンピューターサーバーに各決済機能を集約し、加盟店に設置の決済端末やPOSからインターネット経由で利用(決済)できる仕組みで、平成24年7月にサービスを開始。従来、加盟店が新たな電子マネーや販売促進サービス(ポイントプログラム等)の取り扱いを開始するには、決済端末の入れ替えやPOSシステムの改修などが必要でしたが、本システムでは簡便な手続きにより、低コストで迅速な導入が可能となっています。

当社は、加盟店サービスのさらなる拡充に向け、「J-Mups」の付加価値を一層高め、次代への決済インフラの整備に注力していきます。

<取り扱い概要>

1. 対象サービス: 共通ポイントサービス「Ponta」のポイント付与、利用
2. 対象店舗: 「カラオケ本舗まねきねこ」の全店(順次)

※ひとりカラオケ専門店「ワンカラ」(全国10店舗)、温浴事業「まねきの湯」(同5店舗)への導入も検討

以上

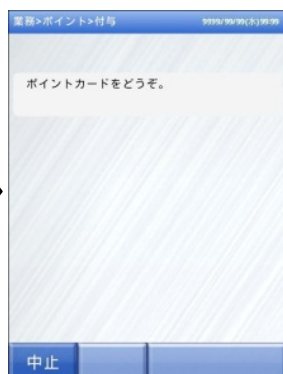
<参考資料>

■店頭取引/端末画面イメージ(ポイント付与時)

①付与メニュー選択



②カードをスワイプ



③利用金額を入力



④確認



■「J-Mups(ジェイマップス)」の概要

(1)主な特徴

- ①拡張性: 電子マネー(Suicaを含む交通系ICカード・iD・QUICPay・楽天Edy・WAON)・クレジットカード・銀聯カード・ジェイデビット(J-Debit)といった決済サービスの他、各種規格の電子マネーにも対応可能。加盟店独自のポイントプログラムやクーポン等のサービス機能も搭載可能。外貨建てカード決済(DCC決済サービス)にも対応。
- ②低価格: 決済端末、非接触型リーダーライターともに従来に比べ低価格。インターネット回線を利用して接続することで、通信コストの削減も実現。
- ③高セキュリティ: 端末側にセンシティブ情報を残さない安全性に優れた設計。PCI-DSSに準拠。
- ④高速処理: クレジットカードの処理速度が1~2秒(一般的なアナログ回線の場合10~20秒)

※ 「Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

※ 「iD」は株式会社NTTドコモの商標です。

※ 「QUICPay」は株式会社ジェシービーの登録商標です。

※ 「楽天Edy(ラクテンエディ)」は、楽天グループのプリペイド型電子マネーサービスです。

※ 「WAON」はイオン株式会社の登録商標です。

(2)端末イメージ

